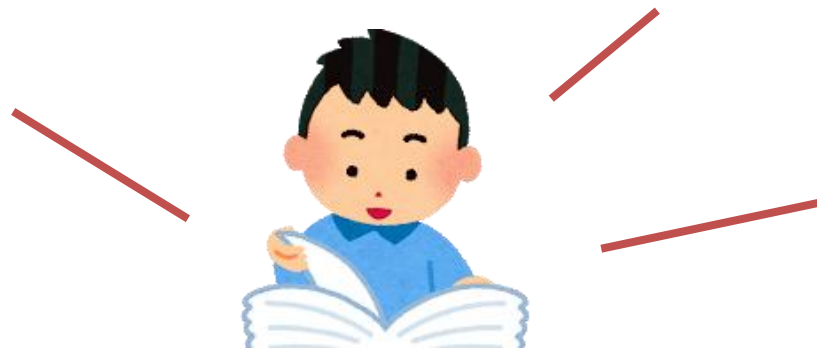


本から音が 聞こえてくるよ



世の中は、鳥のさえずり、車の走る音、踏切の警報器…
たくさんの「音」で溢れています。
おや？
本からもいろいろな音が聞こえてきます。
ぜひ耳を澄ませてみてください。

- 『鳴き声から調べる野鳥図鑑 おぼえておきたい85種』
松田道生／文・音声 菅原貴徳／写真 文一総合出版

「チュンチュン、ピチチチ」と声がして、朝がやってきたことに気付く…。映画や漫画でおなじみの光景です。もちろんさいたま市内でも時間を問わず色々な鳴き声が聞こえますね。その声の持ち主を調べてみませんか？

この本には鳴き声の音声CDが付いているため、鳴き声から調べることができ、とても便利。もちろん図鑑部分では公園・田んぼ・河原といった場所検索や季節での検索もでき、鳥の写真も豊富に載っています。頼りになる一冊です。



● 『風鈴 NHK美の壺』

NHK「美の壺」制作班／編 日本放送出版協会



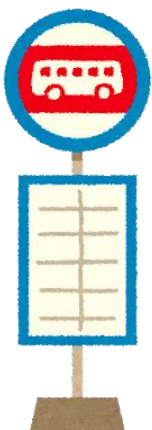
これから暑くなる季節。夕方にチリンチリンと風鈴の音が聞こえてきたら、それだけで涼しくなりますね。鉄製、貝殻製と種類も豊富ですが、よく目にするのはガラス製。このガラス製の口の部分、切り口をあえてギザギザにしていることをご存知でしょうか。

ガラス玉を成形後、口を切り落とす作業が良い音色を作るための一番大事な工程で、「滑らかにしない」のがコツ。風鈴職人さんによれば、中で揺れる「ふり管」が口のギザギザに触れることで音が出て、さらに響く仕組みになっているとのこと。選ぶときは色柄だけでなく、口の部分にも注目です。

● 『カエルのきもち』

千葉県立中央博物館／監修 晶文社出版

4千年以上も前の縄文時代から日本人とともに生活してきたカエル。人間とどう関わってきたか、だけでなく、カエル好きの座談会、カエルQ&A、そしてカエルの食べ方まで、カエル雑学満載です。



● 『バス停留所』 柴田秀一郎／著 リトルモア

全国各地を走る路線バス。そのバス停188カ所を写真に収めました。山間で、浜辺で、そこに暮らす人々の生活とともにあるバス停。バスは映っていないのに今にもバスの停車音が聞こえてきそうです。モノクロの写真が懐かしさを誘います。

編集・発行：さいたま市立与野図書館 平成30年5月

さいたま市中央区下落合5-11-11 TEL 048-853-7816 FAX 048-857-1946